

令和元年度環境あきたエコ活動助成金交付団体一覧

No.	新規 継続	団体名	事業名	事業の概要
1	新	NPO法人 常盤ときめき 隊（能代市）	常盤の里環境保全型農業の 体験事業等	小学生へ環境保全型農業と食育体験等を通じて、環境 保全の重要性に理解を深めてもらうとともに、水と緑 あふれる豊かな自然資源に恵まれていることを自覚 し、地域への誇りと関心を高める。
2	新	おのばホテル 会（秋田市）	ホテルの学校づくり	ホテルの名所として知られた環境を未来に継承する システムを作るとともに、研究拠点を近隣の小学校に 設けて保全活動を推進する。
3	新	NPO法人 はちろうプロ ジェクト （秋田市）	2大学学生との協働による 「はちろうプロジェクト学 生部2019」事業	当法人の活動に関心を持つ秋田県立大学及び秋田公 立美術大学の有志の学生による「はちろうプロジェク ト学生部」の活動をより深め、将来的に八郎湖や秋田 県に関わってくれる若者を増やすため、両大学生の交 流・育成事業を行う。
4	新	秋田県自然観 察指導員連絡 協議会 （五城目町）	ネイチャアフィーリングイ ンゆざわ	『自然保護は自然観察から始まる』の方針のもと、障 害者と健常者が一緒になって自然に親しむ機会を増 やすことによって、行動のバリアフリーをここから始 め、自然保護・環境保全の位置づけを図り、啓発の入 り口にしたい。
5	新	NPO法人 冒険の鍵クー ン（北秋田市）	ヒトもクマも楽しく暮らす 森作り	ヒトとクマとの遭遇事故を無くすために、 (1)地域内外の専門家や研究者と協働し、秋田のクマ の「環境的・文化的な価値」と、その現状や保全 に関する「科学的な根拠」の理解普及に努め、 (2)山菜採りやきのこ採りなど地域の日常に活用でき る情報や知恵、用具を提供し、 (3)これらを通じて得た現状の理解と対処法に加え、 クマにとって里よりも奥山が快適となるような森 作りを進める。
6	新	三又部落自治 会（横手市）	サンソンプロジェクト～生 活域と自然との調和・共生の 里づくり～	増加する耕作放棄地の荒廃を抑制し、将来の反撃基盤 として比較的復元が容易な山菜栽培地として活用す るとともに、集落周辺部に野生動物との共生ベルトと なる開かれた緩衝地帯を設置することにより次世代 に継承する里山環境の保全を図る。
7	新	山田地域づく り協議会 （大館市）	ゴミの不法投棄に向けた対 策事業	当地域の幹線道路（市道）脇に缶類、プラスチック類、 他のゴミの不法投棄が確認されており、環境保全・破 壊防止・再生を目的として、教育・啓発活動と実践に よる「不法投棄をしない・させない～地域環境づくり」 を目指す。
8	新	特定非営利活 動法人秋田パ ドローズ （秋田市）	プラスチックごみ減量雄物 川河口海岸線クリーンアッ プと啓発事業	2003年から昨年まで雄物川のクリーンアップを 行ってきたが、今年度から3年間かけて海岸線のご み回収することで、いま世界的に社会問題になってい るマイクロプラスチックごみ減量に寄与することを アピールし、この問題を地域社会のプラスチックゴミ 減量とポイ捨てや、不法投棄からくるゴミを少なくす る活動につなげる。

9	新	特定非営利活動法人草木谷を守る会 (鴻上市)	谷津田再生プロジェクト「田んぼの楽校」	平成 19 年、地元小学校の環境プログラムとして、耕作放棄され荒廃した「草木谷」を田んぼとして復活させ、美しい里山の田園風景と下流にある八郎湖の環境保全・再生活動「谷津田再生プロジェクト『田んぼの学校』」をはじめた。この活動は、周辺環境に配慮した無農薬、有機肥料での米づくり（餅米）を昔ながらの手作業で取り組むと共に、周辺の自然散策・生き物の観察を通して、生物の多様性や自然の大切さに気付き、尊重する心を育む。
---	---	---------------------------	---------------------	---